

令和4年度 第3回 学校運営協議会

概要

日 時 令和5年2月17日（金）午後7時～8時半

会 場 本校同窓会館2F 会議室

参加者 （委 員）井関委員、富委員、重尾委員、新崎委員、佐藤委員
（事務局）准校長、教頭、事務部長、教務部長、進路指導部長、保健部長、支援教育コーディネーターSSC

配布資料

・学校運営協議会 次第および資料1～5

内容

1. 開会のあいさつ（准校長より）

2. 資料説明

3. 報告

1) 「学校評価アンケート 肯定度経年比較」について ※資料1

生徒用

「学校に行くのが楽しい」、「わかりやすい授業が多い」、「将来の進路や生き方について考える」、「悩みや相談を気軽に話すことのできる先生が多い」といった項目が前年度より数値が上昇している。

保護者用

「子供が学校へ行くのを楽しみにしている」、「子供は、授業がわかりやすく楽しいと言っている」の2項目が数値下降しており、来年度の課題となった。

教員用

設問54個において数値下降が多々見受けられた。改めて気づく事が多くこちらも来年度の課題が多く見つかった。

2) 「授業アンケートの結果」 ※資料2

グラフ通り右肩上がりの結果を維持している。

3) 「学校経営計画」 ※資料 3

これから本庁提出 令和 5 年度運営協議会へ再び提出予定

本年度の自己評価

- ・わかる授業の実現 アンケート結果で肯定的な意見が 78.7% (目標 70%)
- ・進路資格取得 年間資格取得者総数は在籍数の 52.0% (目標 18%)
- ・適正な校内人事 学校教育自己診断アンケートにて 2 項目平均が 85.4% (目標 90%)
- ・日常的な OJT 校内研修、報告会など年間 10 回以上実施 (目標 10 回以上)

4) 「各分掌、委員会、クラブ活動」についての報告 ※資料 4

SSW,SC の活動について

資格取得 (進路)

各分掌および学年から

部活動

5) 「令和 5 年度 学校経営計画及び学校評価」資料 5

3/8 教育庁提出予定

4. 協議

議長 新崎委員

新崎議長の感想→学校評価アンケート 10%以上上昇している項目が多い。特にいろんな先生に相談ができる点に関しての伸び、先生同士の評価について話し合う機会が多いという点の伸びがよかった。

新崎議長からの質問

「学校評価アンケート設問 29、31 の伸びは何か工夫された事がありますか？」

→外部団体の方による講習や車いすバスケットボールの体験会などを積極的に開催したため。

(設問 29：同和問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習指導を工夫して行っている。)

(設問 31：障がい者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く素質を養うように工夫している。)

「同アンケート設問 50、51 は？」

今年度より授業見学週間が設置されたため。また、研修報告などの機会を設けて発表する場を設けたため。いままでも行われていたと思うが、今回、明確にして意識付

けとしました。

(設問 50：学校内で他の教員の授業を見学する機会がよくある)

(設問 51：研修に参加した成果を他の教員に伝える機会が設けられている。)

井関委員より

生徒用アンケートと保護者アンケートの意見が真逆の評価になっている所があるのは何故でしょうか？

→学校から保護者へ学校の内情を伝えられる手段が少なく伝わっていない一面があり、生徒の意見と保護者の意見の乖離が見られました。

新崎議長より

准校長のつぶやきはなぜ実装されたのですか？

→学校でこうやって過ごしてほしいなど、道徳教育もかねて、意見を伝えるツールとして准校長の声を聞いてもらうために実装しました。

佐藤委員より

資格取得をきっかけに、生徒の職に関しての興味や関心が広がると思うので、もっと応援しても良いと思う。

重尾委員より

保護者向けアンケートより肯定的意見 100%の項目が2つあるのが素晴らしい。これを維持することが生徒数の増えるきっかけになると思います。

観点別学習状況の評価は今後どのように推移するのか？

→まだまだ課題は山積みで本校のみならず各校で評価方法を模索している状況です。

式典については縮小して空いた時間をどのように有効利用するのがカギであり、式そのものを省けるものは省いてみるのも良いのでは？と思います。

富委員より

行事が再開となり、修学旅行など子供がすごく楽しんでいる様子が見受けられる。

新崎議長より

粘り強く面倒見のよい学校と言うのが素直な感想。

5. 閉会のあいさつ